



喉に鼻水が下りてたんのようにするため、耳鼻科で検査してもらいました。「悪いところはない」とのことでしたが、「後鼻漏」という病気があるのを知って、疑っています。どのような病気でしょうか？ 有効な薬や治療法はあるのでしょうか。(84歳、女性)

上咽頭炎の疑い

後鼻漏は「鼻水が喉に流れる」症状で、後鼻漏を起こす病気にはアレルギー性鼻炎や副鼻腔炎、上咽頭炎などがあります。アレルギー性鼻炎は水様性の後鼻漏で、副鼻腔炎と上咽頭炎は粘性の後鼻漏です。今回の相談では耳鼻科で検査して「異常がない」と

成人するさまざまな原因に反応しやすい場所となります。呼吸で取り入れた空気は必ず上咽頭を通過します。上咽頭炎は細菌やウイルス感染、アレルギーや疲労、ストレス、気温や湿度の変化などで起こります。後鼻漏やたん、喉の

ド剤で効果があります。一方原因が疲労やストレス、空調変化、慢性炎症の場合は、鼻洗浄(鼻うがい)や、薬液を上咽頭に直接塗りつける「EAT治療(上咽頭擦過治療)」を行います。EAT治療は一般的治療ではなく、国内でも一部の耳鼻

き起こす自己免疫疾患になることがあります。扁桃病巣感染症といい、IgA腎症、関節リウマチ、掌蹠膿疱症が含まれます。後鼻漏、たんが長引く場合は、再度耳鼻科で診察してもらってください。(兵庫県医師会、最上朗II姫路市、最上クリニック院長) ◆第1、3、4日曜に掲載します。

たんなど長引けば再受診を

言われたのであれば、上咽頭炎が疑われます。上咽頭炎は鼻の一番奥で、鼻と咽頭の境界部分「上咽頭」に起こる炎症です。リンパ組織の上咽頭は小児期に咽頭扁桃(アデノイド)で「感染防御の場所」として働きますが、

痛み、頭痛、全身の倦怠感といった症状が出ます。診断には内視鏡検査が必要ですが、特殊光を使った内視鏡があれば診断は容易です。治療法としては、原因が感染やアレルギーによる急性炎症の場合、抗生物質やステロイ

科しか行っていないません。1960年代に始まり、1%の塩化亜鉛水溶液を上咽頭に塗りつけます。効果は症状により差がありますが、約70%と言われています。上咽頭炎は慢性化する、全身の離れた場所に炎症を引